

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立豊住小学校

1 学校教育目標

ふるさとを愛し 共に未来を拓く 児童の育成

2 本年度の重点化された具体的な目標

- ・小規模特認校の充実を図る
- ・全職員で全校児童を担任している意識を高める
- ・一人一人のよさをいかした全職員で学校運営意識を高める
- ・課題を共有し共通理解・共通行動を徹底する
- ・業務改善の推進による働き方改革を実践する

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
家庭・地域との連携	学校は、教育方針を適切に伝えている。	100%の保護者が肯定的な回答をしている。	A	PTA総会や行事、学校だより、マチコミメール、ホームページ、地区の回覧等、学校の様子を伝えると共に、教育方針の下、教育活動が進められていることを伝える。
学習指導	授業や行事等を参観する機会や、保護者会・個人面談等、家庭と話し合う機会を十分設けている。	100%の保護者が肯定的な回答をしている。	A	家庭学習について、児童の評価は94.4%と高いことと、学習ファイルを活用して全校で統一して取り組んでいることを伝えながら、家庭と連携していけるようにする。
生徒指導	学校は、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。	88%の保護者が肯定的な回答をしている。	B	友達関係について、児童の評価は100%であり、道徳の授業での取組の成果も出ているので、継続して共通理解と共通行動を図っていく。保護者への理解についても丁寧かつ誠実に組織で対応する。
健康増進・体力向上	学校は、子どもの健康増進・体力の向上に向けた取組を行っている。	100%の保護者が肯定的な回答をしている。	A	児童の評価も100%であり、計画的・系統的なアクティブタイムの活用の充実と健康教育の推進を進めていく。健康的な生活習慣について家庭や学校医との連携も図っていく。
学校環境	学校の校舎内外は整備され、安全で清潔な教育環境になっている。	100%の保護者が肯定的な回答をしている。	A	安全で機能的な学校環境となるよう定期的な安全点検を徹底する。必要に応じて点検や整備を継続する。
保護者、地域住民との連携	学校は、地域人材やボランティアを活用した教育環境を整え、社会体験活動を十分に行っている。	100%の保護者が肯定的な回答をしている。	A	全校での取組の成果があった。学校運営協議会での話し合いでの意見をもとに、さらに地域と連携した活動を充実していく。

4 自己評価の結果の分析

- ・保護者アンケート結果からは、概ね肯定的な回答であった。特に、ICT教育の推進や地域人材を活用した取組、体力向上の取組についての回答が100%であった。生活習慣の確立や家庭学習の習慣化については、課題として捉えており、家庭との連携を図りながら具体的な取り組みを伝えていく。
- ・保護者の意見としては、全校で取り組んだ豊住プロジェクト(栽培・生産活動等)の様子から、一人一人を大切にしたい取組となっているとの声があり、小規模特認校としての特色を生かしていた活動の成果になった。さらに「専門家による陸上の指導」の機会があるとよいという意見から、講師を依頼し陸上教室を行った。さらに、学校・家庭・地域が連携して本物に触れる活動を取り入れた特色ある教育活動を提案していく。
- ・児童アンケート結果からは、生活面では、「友達と仲良く」が低学年・高学年とも80%を超え、「進んで体力づくり」の設問では、低学年も高学年も100%と肯定的な回答が多かった。また、「読書活動」についても低学年は肯定的な回答は高くなり、図書館教育と関連しての活動の成果があった。生活習慣については、全体的に課題である。